

2026年6月8日

全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、下水サーベイランスの社会実装の推進に向け東京都医師会と意見交換を行いました

令和8年5月29日（金）、全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、下水サーベイランスの社会実装推進に関する提案の実現に向け、東京都医師会の尾崎治夫会長と面談をし、意見交換を行いました。

提案の具体的な内容は以下の通りです。

1. 成長戦略への位置付け

「日本成長戦略会議」の17の戦略分野の一つ「創薬・先端医療」の主要技術に「感染症対応技術」を掲げ、その具体的技術として「下水サーベイランス技術」を明確に位置付けること

2. 骨太の方針への明記

『骨太の方針2026』において、次なるパンデミックへの備えとして、平時からの「全国サーベイランス観測網」の構築と、その社会実装の強力な推進を明記すること

3. 全国実施体制の構築

- 拠点都市200、重点先行都市50を令和8年12月までに決定
- 令和9年度から定期的・継続的な採水・分析を実施

4. 予算の確保と制度化

令和8年度補正予算および令和9年度当初予算において本施策を制度化し、国家安全保障、防衛、国土強靱化の観点から必要な政府予算を安定的に確保すること

- 下水サーベイランス実装事業創設（分析費用等：5.2億円/年）
- データプラットフォーム構築・運営（3億円）
- 設備費補助（自動採水器等：1.5億円）

5. 推進体制の整備

内閣感染症危機管理統括庁を中心に、厚生労働省、国土交通省による「推進連携会議」を設置し、三省庁が緊密に連携して下水サーベイランスの社会実装を加速させる体制を構築すること

尾崎東京都医師会長は、下水サーベイランスの有効性を引き続き高く評価した上で、市民の行動変容を促す社会実装へ期待を寄せられました。

[提案先]：

- 尾崎治夫 公益社団法人 東京都医師会 会長

[訪問者]：

- 北島正章 東京大学 特任教授、全国下水サーベイランス推進協議会 理事、
一般社団法人日本下水サーベイランス協会 理事
- 兪炳匡 (ユウ ヘイキョウ) 早稲田大学 教授、神奈川県立保健福祉大学 教授
- 元岡大祐 大阪大学微生物病研究所 講師
- 小林博幸 一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長
- 谷戸善彦 全国下水サーベイランス推進協議会 理事、
一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長
- 平井悦子 はるひ建設株式会社 代表取締役社長



(写真：左から小林氏、元岡氏、北島氏、尾崎東京都医師会長、兪氏、谷戸氏、平井氏)